

六供町調査中間発表

人間環境大学住環境デザイン研究室

岡崎市六供町周辺は、路地が迷路のようになって濃密なコミュニティをつくっている。この路地の素晴らしいデザインに注目し、人と人のつながり、人とまちとの接点として現れる領域や境界、特別の場所などまちの姿を生きた形で明らかにしようと試みる。本論は岡崎大学懇話会より平成19年度岡崎における産学共同研究として助成を受けた「岡崎市六供町街並み調査」を中間発表したものである。

1. ウォーキングマップの活動から路地の町、六供町を発見した。

2. 六供町 = 岡崎? に魅せられて



3. 一つ一つを丁寧に書き込んで行く



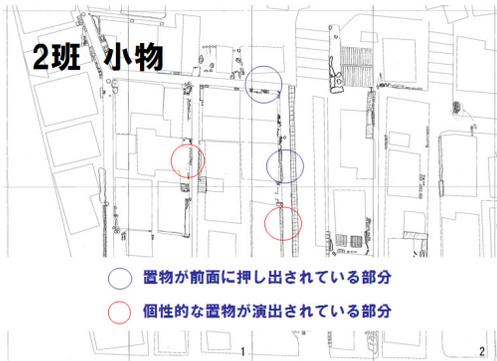
4. 六供町は古い道と置物と坂にあふれた町。まちをこの3つの視点を持って、描いてゆく。

5. 道・道脇・建物間の視点

~ 共有空間が創りだすもの ~



6. 小物の視点



前面に出された置物

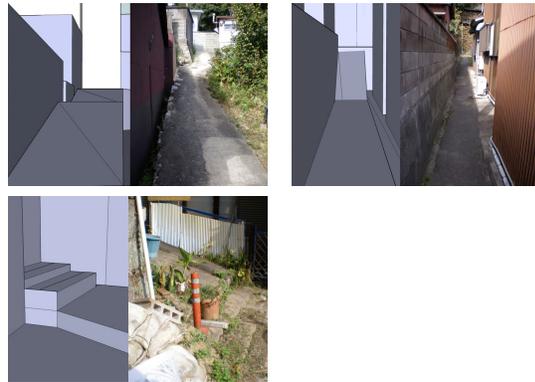


個性的な置物



7. 3班-坂の視点

地形が坂や階段や石垣によって描かれている。



8. これら三つの視点から描かれるまちの姿

